

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-309946

(P2001-309946A)

(43) 公開日 平成13年11月6日 (2001.11.6)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

キーワード (参考)

A 6 1 F 13/72

A 6 1 F 13/16

3 0 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願2000-169714(P2000-169714)

(22) 出願日 平成12年5月1日 (2000.5.1)

(71) 出願人 599112799

鎌田 冷子

東京都江東区東砂6丁目14番3号110

(72) 発明者 鎌田 冷子

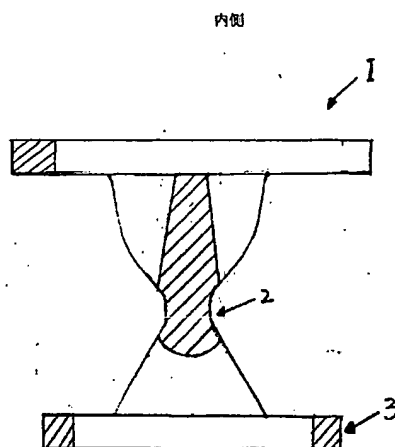
東京都江東区東砂6丁目14番3号110

(54) 発明の名称 看護用生理用ショーツ

(57) 要約

〔課題〕 出産時、又は何らかの理由で寝たまゝの状態でも体を動かさずに生理ナプキンを取り替えることができるようにすること。

〔解決手段〕 生理用ショーツの両脇をはずして前後に分けることができるようにしたのです。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 生理用ショーツの両脇が開閉できるように
なっている看護用の生理用ショーツである。

【発明の詳細な説明】

【0001】 【発明の属する技術分野】 看護用生理ショ
ーツの両脇が開閉できるようにするための製造方法に関
する。

【0002】 【従来の技術】 従来の生理用ショーツは、
本人がはいたり、脱いだりしなくてはならないのです。

【0003】 【発明が解決しようとする課題】 従来の生
理用ショーツは、はいたり、脱いだりしなくてはならな
いという問題点があった。そのため出産後や寝たきり状
態などの場合は不便です。そこで寝た状態でもナプキン
を取り替えることができるようにすることです。

【0004】 【課題を解決するための手段】 上記の問題
点を解決するために本発明は寝たまゝの状態でも生理用
ショーツが開閉できるようにしました。両脇を切り離し
ているために前部分を前方にたおすことができるので
す。また生理用ショーツのウエスト部分は伸縮する素材
を利用する。ウエスト部分の前方にマジックテープ（登
録商標）をつけるので固定できます。

【0005】 【発明の実施の形態】 本発明は生理用ショ
ーツの両脇を切り離して前部分と後部分に分けたショ
ーツである。股の部分はつながっています。後部分の中心
から前部分にかけて内側は防水加工になっています。後
部分からつながっているウエストのベルト部分は伸縮す
る素材でできている。この後部分から伸びているベルト*

*の先にマジックテープを付けて左右を重ねてとめる。前
部分も同じようにベルトの先にマジックテープをつけ
る。そして後ベルトのマジックテープ部分に直接付ける
様にする。後ベルトの幅を広くすると出産後の下腹をひ
きしめる効果もあります。後ベルトの長さはだいたい9
0cmくらいとする。

【0006】 【実施例】 実施例について図面を参照して
説明すると図1は看護用生理ショーツの平面図である。
ショーツの内面の中心に幅約10cmの防水シート面を
つける。後ベルトの右端は内面と外面にマジックテープ
をつけ、左端は外面につける。前部分のベルトは両端と
も内面にマジックテープをつける。

【0007】 【発明の効果】 この発明によって寝たまゝ
の状態でも生理ナプキンを取り替えることができる。これ
まで出産の時などは丁字帯を使用していたがこれだとず
れたりはずれたりしてシートなどを汚したりしていたが
このショーツだと安定しているのでずれる心配がありま
せん。また、後ベルトを締めることによって下腹を引き
締める効果もあります。また、ほかの理由で寝たまゝの
状態の人の看護用としても使いやすく便利です。

【図面の簡単な説明】

【図1】 看護用生理用ショーツの平面図である。

【図2】 看護用生理用ショーツの外側図である。

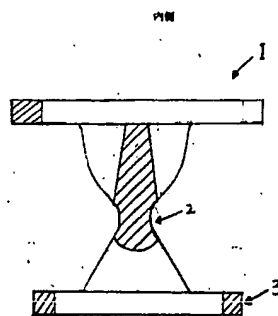
【符号の説明】

1 看護用生理用ショーツ

2 防水シート

3 マジックテープ

【図1】



【図2】

